

令和 7 年 2 月 3 日

各位

奈良県田原本町唐古・鍵遺跡発掘調査（第 129 次）の実施について（ご案内）

唐古・鍵遺跡気候変動プロジェクト
代表 白石哲也（山形大学）

時下、益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

さてこの度、唐古・鍵遺跡気候変動プロジェクト（代表 白石哲也）では、科学研究費学術変革領域（A）計画班 B01「人は「暴れる気候」にどう対応したかー 年縞研究と日本考古学とのコラボレーション」（24H02191）に係る研究として、唐古・鍵遺跡における気候変動と社会・文化の対応を検証していくことを目指し、発掘調査を下記の通り、実施いたします。本遺跡は、弥生時代の大規模農耕集落として、学史的にも著名な遺跡です。今回の調査では、発掘調査を通じて、環境復元に資する新たな試料を抽出することを目指します。今年度より、3 年間で予定しており、今回は試掘調査として実施するものになります。

このような調査は学術調査以外では当面見込めないことから、調査期間中は適宜、関心のある研究者および学生の皆様に公開し、ご教示頂ければ幸いです。

また、周辺環境と安全に配慮する必要があるため、ご来跡の際には必ず下記連絡先までご連絡いただきますようお願いいたします。

記

1. 調査期間：令和 7 年 2 月 20 日（水）～3 月 15 日（土）
公開期間：令和 7 年 2 月 23 日（日）～3 月 14 日（金）
*現場は水木を休みとし、土日は調査を行っています。
2. 場 所：唐古・鍵遺跡・奈良県磯城郡田原本町大字鍵 169
3. 調査主体：山形大学・田原本町教育委員会
4. 調査担当：下記、参照
5. 調査目的：「暴れる気候」との関係性を解明するために必要な新規試料を得るため

本研究は、科学研究費学術変革領域（A）計画班 B01「人は「暴れる気候」にどう対応したかー 年縞研究と日本考古学とのコラボレーション」（24H02191）及び若手研究「弥生時代のコメと魚の食文化ー内陸部の魚料理を解明するー」（23K12306）の助成を受け、田原本町との共同研究協定の下で実施しています。

【アクセス】

- 電車：JR 近鉄樫原線「石見駅」下車 徒歩約 20 分（約 1.5km）、近鉄樫原線「田原本駅」下車 タクシー約 10 分（約 2.5km）、近鉄田原本線「西田原本駅」下車 タクシー約 10 分（約 2.5km）
- 車：唐古・鍵遺跡史跡公園駐車場もしくは田原本町道の駅レスティ唐古・鍵駐車場をご利用ください。遺跡は、史跡公園駐車場から徒歩 5 分ほどです。

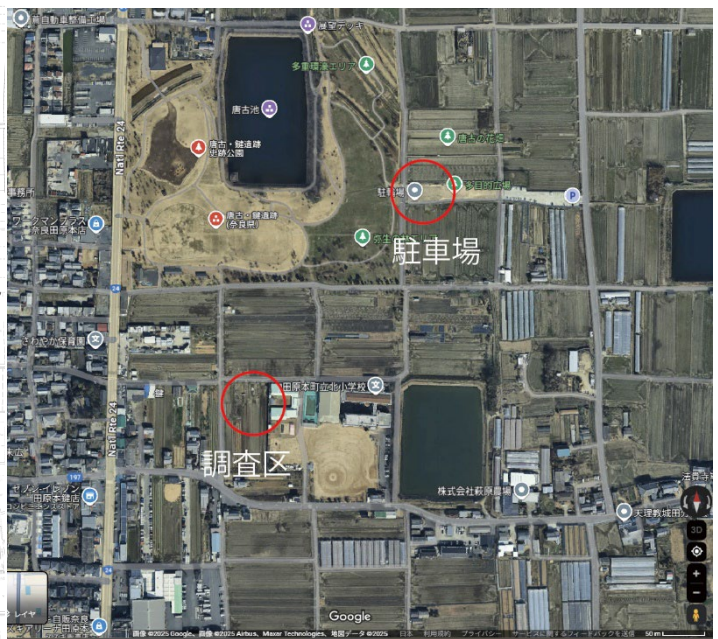
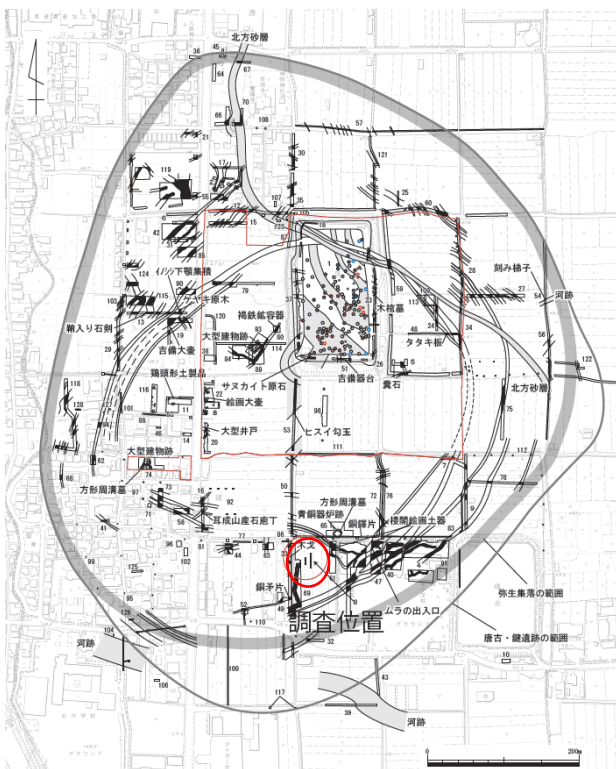
◆ 問い合わせ先

〒0990-8560 山形市小白川町 1-4-12

白石哲也（山形大学学士課程基盤教育院）

TEL023-628-4164（直通） 携帯 080-5481-0223

tshiroishi@cc.yamagata-u.ac.jp



参照 調査位置図と駐車場